

シルバーだより

新ひだか

2016年 新年号 (No. 71)

新ひだか町シルバー人材センター
(新ひだか町静内こうせい町2丁目2番15号)

ホームページアドレス
<http://www.shinhidaka-sc.or.jp>
☎0146-43-2800



新ひだか町東静内「東静内会館」前の電飾 交通安全を願っての啓発「スリップキケン スピードダウン」の文字も

年頭挨拶「信頼をめざして」

2016. 1. 公益社団法人 新ひだか町シルバー人材センター

理事長 大澤 榮作

明けましておめでとうございます。

会員並びに役職員の皆様にはご健勝にて輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃よりお力添えをいただいております新ひだか町をはじめ、企業やご家庭、賛助会員並びに関係各位の方々に心から新年のお祝詞を申し上げますとともに、本年も変わらぬご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。

さて、最近のさまざまな社会情勢についてはマスコミ等によりリアルタイムに報道されていますので、センターの昨年1年間の出来事を振り返りたいと思います。

先ず、かねてよりの懸案でした会員間のフリーマーケットを3月に事業部会が中心となって開催したところ、多くの会員が来店し、来場者は予想をはるかに超え、次回開催に弾みをつける状況となりました。また、新しい試みとしてスタートした「シルバー農園」も7名の会員が同好会を結成し、さつま芋、インゲン、ゴーヤ、枝豆の栽培に挑戦し丹精を込めて育てたところ見事な出来栄となり、ミニヒマワリ、百日草の花等も素敵に咲かせました。収穫時の同好会員の笑顔が印象的でした。

5月中旬に当町で開かれた第24回全国さくらサミットに合わせ、二十間道路エントラス広場での枝木の手入れと清掃、また、「シルバーの日」の町保健福祉センターの剪定、清掃ボランティア活動にも多くの会員が参加



され無事終わることができました。

安全講習関係では、草刈りや刃物研ぎ講習会、特殊詐欺を防ぐための研修会、高齢者活躍人材育成事業として自動車安全運転講習会を自動車学校で、介護補助講習会を当センター研修室で開催しました。

更に、互助会の事業計画に沿って行なわれた新年会、余市方面への一泊研修旅行の実施、そば打ち同好会、カラオケ同好会は毎月例会を開き、親睦を図りながら会員の新規入会に努めました。本年も積極的に参加して下さるようお願いいたします。

昨年11月には、当センターに対し事業活動の状況等について北海道総務部法人局の立入検査が行なわれましたが、公益認定審議会より適正な法人運営に努めており特に問題はないとの検査結果通達がありました。

当センターの現況は、受注件数は増加していますが、事業高並びに会員数は年々減少しており、厳しい状況に変わりはありません。

今後は、内容の充実を図り、発注者から「信頼される仕事を実行することが第一」を目指していきたいと思っております。

本年も会員・役職員一体となってシルバー人材センター事業を進めて参る所存ですので、一層のご協力をお願いし年頭のご挨拶と致します。



新年挨拶

新ひだか町長 酒井芳秀

新年明けましておめでとうございます。年が替わり心機一転希望にあふれたこの新春を健やかに迎えのこころと心からお慶びを申し上げます。また、日頃より町政執行に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

町民の生活を取り巻く情勢にあつては、政府の経済対策による成果が大都市圏を中心とする国内の一部地域に留まり、地方で暮らす住民にまで十分に行き届いていない状況であると認識しております。

一方で、日本全体に関わる大きな問題として、近年「人口減少」がクローズアップされていますが、このまま人口減少が続けば、25年後には当町を含む約半数の市町村で行政サービスの維持が困難になる危険性が指摘されております。

しかしながら、これを悲観しているばかりではなく、これからの本格的な高齢社会において、長年培われた知識と経験を生かした高齢者の自立や生きがいの増進と地域の活性化に向け、その受け皿として新ひだか町シルバー人材センターに課せられる役割は更に大きく、今後の活動に期待をいたしております。

新ひだか町シルバー人材センター並びに会員皆様のみまますのご発展とご健勝を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

『あけましておめでとうございます』

今年もよろしくお願ひ申し上げます

臨時職員	業務係	総務係	事務局	局長	【事務局職員】	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副理事長	理事
山本秀義	小関雅美	中村美由紀	福地伸	井原毅	日向寺敏彦	鈴木木隆	齋藤郁夫	外崎信夫	内山雄治	石垣榮治	伊木和子	村仲夕	塚田昌克	北畑幸一	千葉一	福地伸	高瀬榮	大澤	高瀬榮	大澤

理事
事務局
職員
監事



27年度 第4回 理事会を開催



平成27年12月18日（金）、第4回理事会が当センター会議室で開催され、報告事項として「事業経過、事業実績状況、個人番号利用目的通知書について」等7件、議案事項として「特定個人情報事務規程」等3件について協議がなされました。

報告事項 ① 発注先別実績（27年4月1日～27年11月30日）

	件数（前年）	就業延日人員	契約金額(円)（前年金額）	昨年度との対比%
公 共	67（65）	1,699	5,590,207（5,631,346）	99.3
民間事業所	288（279）	7,696	34,173,044（37,047,415）	92.2
一般家庭	567（498）	1,931	8,210,063（7,963,410）	103.1
合 計	922（842）	11,326	47,973,314（50,642,171）	94.7

考察① 受注件数は、全体で昨年より80件増えている。

考察② 就業延日人員は、表には記載していないが昨年は12,293人であり、今年度は受注件数が80件の増にも関わらず、逆に967人減少している。

考察③ 契約金額も考察②と同じように昨年の金額より2,668,857円減っている。一般家庭からの契約金額は若干増えているが、民間事業所の対前年比2,874,371円減が大きく影響し、全体としてマイナスの契約金額となっている。

考察④ 前年度対比としては、94.7%であり5.3%のマイナスとなっており厳しい状況が続いている。

報告事項 ② 個人番号利用目的通知書について

個人番号については、会員皆様の固有の個人番号が記載された「通知カード」が既に簡易書留で郵送されお手元に届いていることと思いますが、下記の事項について十分留意して下さい。

- ① 郵送された「通知カード」は、捨てたり、失くしたりしないように保管しておく。（個人カードを申請する時に必要になります。）
- ② 個人カードの交付申請については、あくまでも本人の判断ですので、センター事務局から取得についてお願いすることは一切ありません。これに絡む「現金要求詐欺」に留意して下さい。

マイナンバー制度に絡む現金要求は詐欺です！

報告事項 ③ 道総務部法人局立入検査結果

当センターでは、平成27年11月20日（金）に「法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査」を受けましたが、その結果が平成27年12月15日に高橋はるみ知事名で大澤理事長宛に文書で下記内容で送付されてきました。（その一部内容です）

「……………平成27年11月20日に検査を実施したところですが、検査の結果、事業の適正な運営を確保するために報告を徴すべき事項はありませんので、通知します。

今後とも、引き続き適正な法人運営に努められるよう願います。」

このことは、当センターの運営・事務処理を担当している「事務局職員」が適正な法人運営に努めてきた結果だと思えます。

シルバー人材センター
(愛称 生き活きセンター)



事務局 だより

互助会関係

※ 互助会新年会のご案内

- ・平成28年1月23日(土)
 - ・「天政」御幸町1丁目
 - ・正午(12:00)より
 - ・参加費 3,000円
- 1月20日迄に会費を添えてシルバー事務局へ申し込み下さい。

高齢者活躍人材育成事業として

「自動車安全運転講習会」・「介護補助講習会」を開催

道シ連主催による標記事業を
下記日程と内容で実施しました。

自動車安全運転講習会 8名参加

- ① 実施日時：平成27年10月22日(木)
9:30~12:30
- ② 場 所：静内総合自動車学校
- ③ 内 容：運転の心得、適正検査、実技指導等

介護補助講習会 13名参加

- ① 実施日時：平成27年10月27日(火)~28日(水)
- ② 場 所：当センター研修室 9:30~16:30
- ③ 内 容：介護の心構え、認知症ケア、家事援助技術
車いす、歩行の介助のしかた等



介護補助講習会参加者の皆さん



シルバーの日「ボランティア活動」平成27年10月17日(土)

心地よい晴天に恵まれたこの日「シルバーの日」に、公益社団法人の普及啓発、就業開拓と地域への奉仕を目的に、大型店舗前でのリーフレットの配布とボランティア活動として、保健福祉センター・町立病院構内の植栽木の枝落とし、清掃・片づけ作業を行いました。



剪定・清掃活動とリーフレット配布活動



「ばあちゃん！おれだよ、おれ！」と息子や孫を装って多額の現金を振り込ませる「オレオレ詐欺」や「架空請求詐欺」「還付金詐欺」等の特殊詐欺(とくしゅさぎ)が道内でも増えており、昨年平成15年の被害額も9億円を超える金額になっています。当シルバー人材センターでは昨年12月1日に「詐欺防止啓発研修会」を開催し、静内警察署員を講師に特殊詐欺の事例や防止の為の心構え等の研修をしました。特徴としては、現金を振り込ませるのではなく小包等にして送らせるのが大変多いという事です。また、息子や孫を名乗る者から、電話で「俺だけど！」と言われた場合の対応で絶対言っはいけないことは、自分から「〇〇かい？」と息子や孫の名前を言うことです。これは、相手に息子や孫の名前を教える事になるからです。何か変な電話だなと思ったらあわてることなく、一人で判断せず家族や警察に相談してほしいとのことでした。また、この研修会では、福地事務局長からシルバー人材センターの職員を名乗り「小包がお宅に届くようにしてあるので配達されたら受け取って置いてほしい。」と依頼し、後で詐欺班の仲間が受け取りに出向くという事例が発生しているとの説明がありました。実は小包の中身は、だまし取った現金ということです。新ひだか町シルバー人材センターでは一切そのような依頼をすることはありません。そのような電話等があった時は、当シルバー人材センター事務局(☎43-2800)へ速やかに連絡を下さるようお願い致します。

特殊詐欺に注意

昨年の被害額 9億3千万円

「ばあちゃん！おれだよ、おれ！」と息子や孫を装って多額の現金を振り込ませる「オレオレ詐欺」や「架空請求詐欺」「還付金詐欺」等の特殊詐欺(とくしゅさぎ)が道内でも増えて

